

台東区産業振興推進方針

～これからの挑戦に寄り添うために～

令和4年3月

台 東 区

○ 目 次

I 方針の策定にあたって

| | |
|---------------------------|---|
| 1 背 景 | 4 |
| 2 目 的 | 4 |
| 3 レベル分類による感染状況の定義 | 5 |
| 4 方針の位置づけ | 6 |
| 5 台東区産業振興計画に位置付けられた事業について | 6 |
| 6 方針の期間 | 6 |
| SDGsについて | 7 |

II コロナ禍における区の実組み

| | |
|-----------------|----|
| 1 コロナ禍における区の実組み | 8 |
| 2 事業分類ごとのまとめ | 13 |

III 区内中小企業の現状

| | |
|-----------------------|----|
| 1 ヒアリングによる区内中小企業の現状把握 | 14 |
| 2 ヒアリング結果（事業所） | 15 |
| 3 ヒアリング結果（団体） | 18 |
| 4 区内中小企業等の現状から見えてくる課題 | 19 |

IV 基本方針

| | |
|--------------------------|----|
| 基本方針1 コロナ禍の影響を最小限に抑える | 20 |
| 基本方針2 企業価値を向上させる取組みを促進する | 20 |
| 基本方針3 新たな販わいのスパイラルを創る | 20 |

| | | |
|-----|---------------------------|----|
| V | 基本方針を推進するための横断的取組み | |
| 1 | 情報発信の充実 | 21 |
| 2 | 事業者の実情に応じた「パッケージ支援」の導入 | 22 |
| 3 | 専門家によるハンズオン支援 | 22 |
| 4 | 事業者の「長所進展」を目指す支援 | 23 |
| 5 | 団体・関係支援機関との更なる連携強化 | 23 |
| 6 | SDGsやデジタル化に取り組む事業者への支援 | 23 |
| VI | 感染状況に応じた主な取組み | |
| 1 | 感染再拡大期 | |
| | 【基本方針1】コロナの影響を最小限に抑える | 25 |
| 2 | 感染小康期 | |
| | 【基本方針2】企業価値を向上させる取組みを促進する | 26 |
| 3 | 感染収束期 | |
| | 【基本方針3】新たな賑わいのスパイラルを創る | 27 |
| VII | 方針の推進に向けて | |
| 1 | 推進体制について | 28 |
| 2 | 進捗管理について | 28 |
| 3 | これからの挑戦に寄り添うために | 28 |

I 方針の策定にあたって

1 背景

区では、平成29年度からの5年間を計画期間とする「台東区産業振興計画」を策定し、「世界に躍動する産業都市 たいとう」の実現に向けた産業振興策の方向性に基づき、様々な施策展開を図ってきた。

しかしながら、令和2年、世界的に拡大した「新型コロナウイルス感染症」（以下「コロナ」という。）は、サプライチェーンの混乱を招き、部品や原材料の不足による経済活動の低下など、世界経済に大きな打撃を与えている。

日本においても、サプライチェーンの混乱に加え、度重なる緊急事態宣言の発出による人流や物流の停滞・消費者心理の落ち込みなどによる経済への影響が続いており、区内産業も厳しい状況に置かれている。

そのような状況の中、区では、区内産業を守り、持続的な発展につなげていくため、**感染状況に応じた適切な施策に取り組んでいく必要がある。**

2 目的

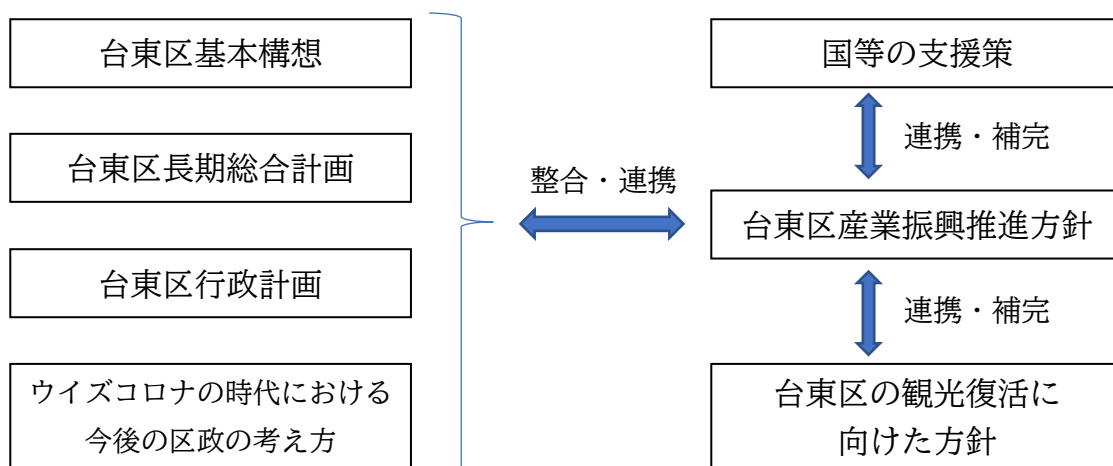
感染症の拡大状況に応じたレベルを想定し、当該レベルに応じた、施策展開の方針を整備することで、柔軟に、スピード感をもって区内中小企業支援を推進することを目的とする。

3 レベル分類による感染状況の定義

本方針では、国の「新たなレベル分類の考え方」（令和3年11月新型コロナウイルス感染症対策分科会）で示された、感染状況のレベルに基づき、レベル3～4を「感染拡大期」、レベル2を「感染小康期」、レベル0～1を「感染収束期」と定義する。

| 本方針での分類 | | レベル | 具体的な状況 |
|---------|-------|------|---|
| 国内 | 感染拡大期 | レベル4 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 飲食店等への休業要請 ・ イベントの開催制限 |
| | | レベル3 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 緊急事態宣言発出 ・ まん延防止等重点措置適用 ・ 飲食店等への時短要請、人数制限、酒類提供停止の要請 |
| | 感染小康期 | レベル2 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 緊急事態宣言解除 ・ まん延防止等重点措置解除 ・ 飲食店等への時短要請、人数制限の要請 |
| | 感染収束期 | レベル1 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 感染者数減少が継続 ・ 飲食店等への人数制限の協力依頼 |
| | | レベル0 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 新規陽性者数0を維持 ・ 飲食店等の通常営業 |

4 方針の位置づけ



5 台東区産業振興計画に位置づけられた事業について

台東区産業振興計画は、令和4年3月をもって計画期間が終了となるが、コロナの影響で経済情勢の見通しが困難なため、台東区産業振興計画に位置付けた事業については、方針の趣旨に照らし必要な事業を引き続き実施していく。

6 方針の期間

方針の期間は、令和4年度からコロナ禍の影響が残る当面の間とする。

【SDGsについて】

SDGsとは、2015年国連サミットで採択された2030年までにすべての加盟国が達成を目指す国際目標である。経済、社会、環境の3つのバランスをとり、すべての人が平和で豊かに暮らせる世界を実現する取組みのことを言う。「誰ひとり取り残さない」という理念のもと、17の目標（ゴール）と169のターゲットで構成される。

SDGsは、働きがいと両立する経済成長のほか、今までになかったイノベーションやパートナーシップの創出も目標としているため、ビジネスとの親和性も高い。コロナ禍で新しい生活様式の普及や消費行動の変化に伴い、ビジネスモデルの転換が求められている中、それらに取り組む企業の支援の充実が必要となっている。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



Ⅱ コロナ禍における区の実施

区では、コロナの影響が出始めた令和2年2月以降、区内事業者を対象に様々な支援策を実施してきた。

具体的な支援策は、以下のとおり。

※表中、事業分類欄は、以下の番号で示すものとする。

1. 感染拡大防止
2. 資金繰り対策（融資・助成金）
3. 経営相談
4. 販路拡大・消費喚起
5. セミナー
6. その他

1 コロナ禍における区の実施

| No | 実施時期 | | 事業名 | 事業分類 |
|----|---|----|-------------------------|------|
| | 年 | 月 | | |
| 1 | 令和2年 | 2月 | 「特別相談窓口」 | 3 |
| | 事業活動に影響を受けている事業者に対し、資金繰りや経営に関する特別相談窓口を設置 | | | |
| 2 | 令和2年 | 3月 | 「新型コロナウイルス感染症対策特別資金」 | 2 |
| | 売上減少を受けた事業者に対し、利子負担等の軽減を図る、特別融資あっ旋「新型コロナウイルス感染症対策特別資金」を実施 (受付期間：令和2年3月2日から令和2年5月29日まで) | | | |
| 3 | 令和2年 | 4月 | 「おうちでたいとうグルメ」 | 4 |
| | テイクアウト・デリバリーを実施している飲食店の情報を「TAITTOおでかけナビ」で紹介するとともに、購入者や店舗にSNSで投稿してもらうキャンペーンを実施 | | | |
| 4 | 令和2年 | 5月 | 「商店街新型コロナウイルス感染症緊急対策支援」 | 1 |
| | コロナの拡大防止に取り組む商店街に対し、対策に資する取組みに対する経費を助成（限度額20万円、補助率10/10） | | | |

| No | 実施時期 | | 事業名 | 事業分類 |
|----|--|-----|--------------------|------|
| | 年 | 月 | | |
| 5 | 令和2年 | 5月 | 「オンラインショップ出店・開設支援」 | 2 |
| | 事業者が、新たな販路拡大を図るためにオンラインショップへの出店や開設を行う際の経費を助成（限度額20万円、補助率10/10） | | | |
| 6 | 令和2年 | 5月 | 「雇用調整助成金等の無料相談」 | 3 |
| | 国の「雇用調整助成金」等を申請する際に手続きに係る負担軽減を図るため、社会保険労務士による無料相談を実施 | | | |
| 7 | 令和2年 | 6月 | 「経営持続化特別資金」 | 2 |
| | 売上減少を受けた事業者に対し、利子負担等の軽減を図る特別融資あっ旋「経営持続化特別資金」を実施 （受付期間：令和2年6月1日から令和2年9月30日まで） | | | |
| 8 | 令和2年 | 6月 | 「新しい日常取組店舗応援事業」 | 1 |
| | 区内飲食店等に、コロナ予防策に取組む宣言書や来店者用注意喚起シール等を配布。さらに産業情報誌に宣言店のPRを掲載 | | | |
| 9 | 令和2年 | 8月 | 「緊急経営相談ダイヤル」 | 3 |
| | コロナの影響を受ける事業者が、経営上の諸問題に関して、中小企業診断士に直接電話できる専用電話を設置 | | | |
| 10 | 令和2年 | 8月 | 「台東区産業フェア」 | 4 |
| | コロナの影響により展示販売会を中止したが、事業者のPR・販路拡大のためInstagramによる情報発信を実施 | | | |
| 11 | 令和2年 | 8月 | 「#たいとう愛」 | 4 |
| | 店舗等が「#たいとう愛」をつけてSNSに投稿した内容を区文化産業観光部のInstagram及び観光課Twitterで紹介するとともに、店舗への応援メッセージ等を投稿した区民や来街者を対象にプレゼントキャンペーンを実施 | | | |
| 12 | 令和2年 | 10月 | 「経営持続化特別資金」の延長 | 2 |
| | 売上減少を受けた事業者に対し、利子負担等の軽減を図る特別融資あっ旋「経営持続化特別資金」の受付期間を令和3年3月末まで延長 （受付期間：令和2年10月1日から令和3年3月31日まで） | | | |
| 13 | 令和2年 | 10月 | 「商業施設での販売会」 | 4 |
| | 事業者の販路開拓・商品PRのために新宿の商業施設での販売会を実施 | | | |


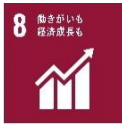






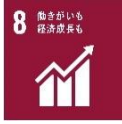
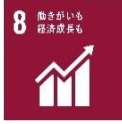

| No | 実施時期 | | 事業名 | 事業分類 |
|----|---|-----|------------------------|------|
| | 年 | 月 | | |
| 14 | 令和2年 | 10月 | 「新しい日常取組店舗応援事業」 | 1 |
| | 新しい日常取組店舗の責任者等に対し、感染予防講習会を実施。特に、食品衛生協会の加盟団体に対して「新しい日常取組推進員」の認定を行い、普及啓発活動に係る経費を補助（限度額20万円、補助率10/10） | | | |
| 15 | 令和2年 | 12月 | 「JR上野駅での販売会」 | 4 |
| | 事業者の販路開拓・商品PRのために販売会を実施 | | | |
| 16 | 令和2年 | 12月 | 「マッチング商談会」 | 4 |
| | 区内観光事業者が連携し、宿泊・体験・飲食等をセットにした旅行商品創出のための商談会を開催 | | | |
| 17 | 令和3年 | 2月 | 「中小企業診断士による出張相談」 | 3 |
| | コロナの影響を受けている事業者を対象に、中小企業診断士による出張相談会を区有施設等で8回実施 | | | |
| 18 | 令和3年 | 2月 | 「新ビジネスチャレンジ支援」（第1回） | 2 |
| | コロナの影響を踏まえ、事業者に対し新たなビジネスへのチャレンジに要する経費の一部を助成（限度額 A型20万円・B型100万円、補助率 A・B型ともに2/3） | | | |
| 19 | 令和3年 | 3月 | 「一時支援金活用セミナー」 | 5 |
| | 国の一時支援金の活用に関するセミナーを区内3会場で実施 | | | |
| 20 | 令和3年 | 4月 | 「経営持続化特別資金」の延長 | 2 |
| | 売上減少を受けた事業者に対し、利子負担等の軽減を図る特別融資あっ旋「経営持続化特別資金」の受付期間を令和3年9月末まで延長（受付期間：令和3年4月1日から令和3年9月30日まで） | | | |
| 21 | 令和3年 | 4月 | 「新ビジネスチャレンジ支援」（第2回） | 2 |
| | コロナの影響を踏まえ、事業者に対し新たなビジネスへのチャレンジに要する経費の一部を助成（限度額 A型20万円・B型100万円、補助率 A・B型ともに2/3） | | | |
| 22 | 令和3年 | 4月 | 「新型コロナウイルス感染症対策借換特別資金」 | 2 |
| | これまで区の各種融資制度を活用している事業者に対し、返済負担の軽減を図る借換特別融資あっ旋「新型コロナウイルス感染症対策借換特別資金」を実施（受付期間：令和3年4月12日から令和4年3月31日まで） | | | |

| No | 実施時期 | | 事業名 | 事業分類 |
|----|--|-----|-------------------------|------|
| | 年 | 月 | | |
| 23 | 令和3年 | 6月 | 「マッチング商談会」 | 4 |
| | 区内観光事業者が連携し、宿泊・体験・飲食等をセットにした旅行商品創出のための商談会を開催 | | | |
| 24 | 令和3年 | 7月 | 「商店街共同売出し支援事業」 | 4 |
| | 中元期に台東区商店街連合会が実施する売出し事業を支援 (参加商店街：6商店街、補助率 9/10) | | | |
| 25 | 令和3年 | 7月 | 「JR上野駅での販売会」 | 4 |
| | 事業者の販路開拓・商品PRのために販売会を実施 | | | |
| 26 | 令和3年 | 8月 | 「新型コロナワクチン職域接種」 | 1 |
| | 観光地として来街者に安心して区を訪れてもらうために、観光関連産業や商店街等の従業員等にワクチン接種を実施。 本事業については、ワクチン供給の不透明さから、区の大規模接種会場でのワクチン接種に切り替え | | | |
| 27 | 令和3年 | 8月 | 「新ビジネスチャレンジ支援」(第3回) | 2 |
| | コロナの影響を踏まえ、事業者に対し新たなビジネスへのチャレンジに要する経費の一部を助成 (限度額 A型20万円・B型100万円、補助率 A・B型ともに2/3) | | | |
| 28 | 令和3年 | 8月 | 「商業施設での販売会」 | 4 |
| | 事業者の販路開拓・商品PRのために広島の商業施設での販売会を実施 | | | |
| 29 | 令和3年 | 9月 | 「江戸たいとうキャッシュレスポイント還元事業」 | 4 |
| | 区内の消費喚起及びキャッシュレス決済の普及啓発のため区内店舗で二次元コード決済を利用した消費者へのポイント還元を実施 | | | |
| 30 | 令和3年 | 9月 | 「江戸たいとうスーパーバザール」 | 4 |
| | 区内の消費喚起のために、台東区商店街連合会キャンペーン事業を支援 | | | |
| 31 | 令和3年 | 10月 | 「経営持続化特別資金」の延長 | 2 |
| | 売上減少を受けた事業者に対し、利子負担等の軽減を図る特別融資あっ旋「経営持続化特別資金」の受付期間を令和4年3月末まで延長 (受付期間：令和3年10月1日から令和4年3月31日まで) | | | |

| No | 実施時期 | | 事業名 | 事業分類 |
|----|--|-----|-------------------|------|
| | 年 | 月 | | |
| 32 | 令和3年 | 10月 | 「台東区産業フェア」 | 4 |
| | 実会場による展示商談会に加え、公式ウェブサイトを更新し、区内事業者のPR・新販路開拓を支援 | | | |
| 33 | 令和3年 | 10月 | 「働き方セミナー」 | 5 |
| | 「職場のメンタルヘルス～コロナ禍のメンタルヘルスを考える」をテーマにセミナーを開催 | | | |
| 34 | 令和3年 | 10月 | 「伝統工芸職人実演のオンライン化」 | 6 |
| | 江戸下町伝統工芸館での職人による実演を、社会科見学で来館した小中学校の児童・生徒を対象にオンラインで行うとともに、職人との交流機会を創出 | | | |
| 35 | 令和3年 | 10月 | 「マッチング商談会」 | 4 |
| | 区内観光事業者が連携し、宿泊・体験・飲食等をセットにした旅行商品創出のための商談会を開催 | | | |
| 36 | 令和3年 | 11月 | 「JR東京駅での販売会」 | 4 |
| | 事業者の販路開拓・商品PRのために販売会を実施 | | | |
| 37 | 令和3年 | 11月 | 「観光分野における連携協定」 | 6 |
| | クラブツーリズム株式会社が有するノウハウ等を活用し、事業者支援やまちの活力を取り戻し、持続的発展につなげるため連携協定を締結 | | | |
| 38 | 令和3年 | 12月 | 「商店街共同売出し支援事業」 | 4 |
| | 歳末期に台東区商店街連合会が実施する売出し事業を支援 (参加商店街：10商店街、補助率：9/10) | | | |
| 39 | 令和3年 | 12月 | 「JR上野駅での販売会」 | 4 |
| | 事業者の販路開拓・商品PRのために販売会を実施 | | | |
| 40 | 令和4年 | 2月 | 「商業施設での販売会」 | 4 |
| | 事業者の販路開拓・商品PRのために表参道の商業施設で販売会を実施 | | | |

| No | 実施時期 | | 事業名 | 事業分類 |
|----|--------------------------------------|----|--------------|------|
| | 年 | 月 | | |
| 41 | 令和4年 | 2月 | 「JR上野駅での販売会」 | 4 |
| | 事業者の販路開拓・商品PRのために販売会を実施 | | | |
| 42 | — | — | 職員へのあっせん販売 | 6 |
| | 区内事業者支援のため、職員に対して地場産業製品やお弁当などをあっせん販売 | | | |

2 事業分類ごとのまとめ

| 分類 | 該当事業数 | SDGsの目標との関係 |
|-----------------|-------|--|
| 1. 感染拡大防止 | 4 |  |
| 2. 資金繰り（融資・助成金） | 10 |   |
| 3. 経営相談 | 4 |   |
| 4. 販路拡大・消費喚起 | 19 |    |
| 5. セミナー | 2 |  |
| 6. その他 | 3 |   |
| 合計 | 42 | |

Ⅲ 区内中小企業の現状

1 ヒアリングによる区内中小企業の現状把握

令和3年11月から12月まで、主に区内中小企業の経営者に対して、コロナによる売上の変化や対応策、さらに今後の取組みなどについて対面によるヒアリングを実施した。

ヒアリング結果は以下のとおり。

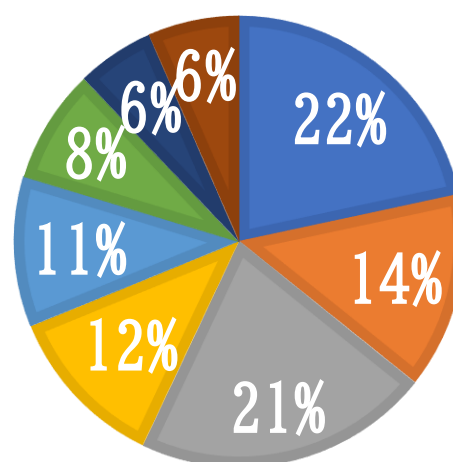
(1) ヒアリング数

| 種別 | 件数 |
|-------|-----|
| 事業所数 | 305 |
| 支援団体数 | 13 |

(2) 業種

| 業種 | 件数 |
|------|----|
| 製造 | 66 |
| 卸売 | 43 |
| 小売 | 65 |
| サービス | 36 |
| 飲食 | 33 |
| 宿泊 | 25 |
| 伝統工芸 | 17 |
| その他 | 20 |

■製造 ■卸売 ■小売 ■サービス ■飲食 ■宿泊 ■伝統工芸 ■その他



2 ヒアリング結果（事業所）

（1）コロナの影響による売上変化

| 項目 | 製造 | 卸売 | 小売 | サービス | 飲食 | 宿泊 | 伝統工芸 | その他 | 計 |
|--------------|----|----|----|------|----|----|------|-----|-----|
| 大幅に減少（50%以上） | 14 | 9 | 27 | 12 | 23 | 24 | 5 | 6 | 120 |
| 減少（50%未満） | 33 | 24 | 29 | 14 | 7 | 1 | 12 | 10 | 130 |
| 変わらない | 10 | 2 | 5 | 5 | 0 | 0 | 0 | 1 | 23 |
| 増加（50%未満） | 7 | 2 | 1 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 13 |
| 大幅に増加（50%以上） | 1 | 2 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 5 |
| 無回答 | 1 | 4 | 2 | 2 | 2 | 0 | 0 | 3 | 14 |
| 計 | 66 | 43 | 65 | 36 | 33 | 25 | 17 | 20 | 305 |

コロナによる状況変化を見ると、大幅に減少が120件（39.3%）、減少が130件（42.6%）で合計250件（82.0%）と大きな影響を受けている。また、売上が増加したと答えた事業所は、感染対策3件、経営の多角化や業態転換2件、オリジナルブランドの立ち上げ1件などの対応を行っていた。

（2）売上減少に対する対応策 ※複数選択可

| 項目 | 製造 | 卸売 | 小売 | サービス | 飲食 | 宿泊 | 伝統工芸 | その他 | 計 |
|-------|-----|----|-----|------|----|----|------|-----|-----|
| 借入 | 20 | 20 | 32 | 8 | 26 | 14 | 7 | 5 | 132 |
| 給付金等 | 34 | 12 | 37 | 15 | 24 | 19 | 12 | 9 | 162 |
| 事業転換等 | 12 | 5 | 8 | 7 | 10 | 3 | 1 | 2 | 48 |
| 感染対策 | 18 | 14 | 31 | 15 | 20 | 19 | 8 | 8 | 133 |
| その他 | 4 | 1 | 10 | 6 | 5 | 5 | 2 | 1 | 34 |
| 対策なし | 4 | 1 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 4 | 12 |
| 無回答 | 19 | 17 | 10 | 12 | 2 | 0 | 1 | 3 | 64 |
| 計 | 111 | 70 | 128 | 66 | 87 | 60 | 31 | 32 | 585 |

売上減少に対する対応策としては、借入、給付金等の合計が294件（50.3%）で、感染対策133件（22.7%）が多い結果となった。このことから、まずは資金繰りや感染対策に取り組み、少しでも経営を安定化させようとしていることが伺える。

(3) 今後、取り組みたいこと ※複数選択可

| 項目 | 製造 | 卸売 | 小売 | サービス | 飲食 | 宿泊 | 伝統工芸 | その他 | 計 |
|----------|-----|----|-----|------|----|----|------|-----|-----|
| SDGs | 15 | 10 | 9 | 6 | 2 | 6 | 2 | 4 | 54 |
| DX | 12 | 11 | 20 | 11 | 12 | 12 | 6 | 7 | 91 |
| 他事業者等と交流 | 7 | 5 | 9 | 13 | 2 | 3 | 5 | 2 | 46 |
| 働き方改革等 | 21 | 6 | 9 | 7 | 7 | 6 | 2 | 5 | 63 |
| 事業承継 | 10 | 3 | 11 | 5 | 8 | 4 | 6 | 3 | 50 |
| 事業転換等 | 15 | 12 | 14 | 11 | 6 | 5 | 2 | 5 | 70 |
| 新製品等の開発 | 32 | 21 | 23 | 12 | 17 | 5 | 8 | 6 | 124 |
| 新販路開拓 | 37 | 29 | 29 | 13 | 5 | 11 | 7 | 6 | 137 |
| その他 | 2 | 0 | 2 | 0 | 4 | 2 | 0 | 1 | 11 |
| 計 | 151 | 97 | 126 | 78 | 63 | 54 | 38 | 39 | 646 |

今後取り組みたいことでは、新販路開拓 137 件 (21.1%)、新製品等の開発 124 件 (19.2%)、DX91 件 (14.1%) と続き、コロナを契機に事業者が新たな一歩を踏み出すことを検討していることが伺える。

(4) 行政に望む支援策等 ※複数選択可

| 項目 | 製造 | 卸売 | 小売 | サービス | 飲食 | 宿泊 | 伝統工芸 | その他 | 計 |
|-------------|-----|----|-----|------|----|----|------|-----|-----|
| SDGs | 9 | 3 | 5 | 3 | 4 | 6 | 1 | 1 | 32 |
| DX | 11 | 10 | 9 | 6 | 10 | 8 | 4 | 1 | 59 |
| 他事業者等と交流 | 15 | 4 | 11 | 13 | 5 | 4 | 2 | 4 | 58 |
| 職場環境の整備 | 15 | 3 | 3 | 3 | 9 | 2 | 1 | 1 | 37 |
| 後継者確保・育成 | 6 | 3 | 6 | 0 | 2 | 0 | 3 | 3 | 23 |
| 経営改革のアドバイス | 7 | 4 | 3 | 5 | 2 | 0 | 2 | 3 | 26 |
| 新製品等の開発 | 14 | 8 | 4 | 4 | 4 | 2 | 3 | 1 | 40 |
| 海外展開・取引 | 13 | 6 | 8 | 8 | 2 | 2 | 3 | 1 | 43 |
| マーケティング | 6 | 4 | 5 | 6 | 6 | 5 | 2 | 0 | 34 |
| 事業者情報の発信等 | 15 | 8 | 13 | 9 | 7 | 5 | 8 | 7 | 72 |
| 店舗・設備の更新等 | 15 | 11 | 12 | 4 | 7 | 7 | 4 | 2 | 62 |
| 区融資制度の充実 | 14 | 14 | 20 | 1 | 7 | 9 | 3 | 7 | 75 |
| 公的支援策の情報提供 | 15 | 8 | 22 | 9 | 7 | 11 | 2 | 11 | 85 |
| その他 | 12 | 6 | 15 | 5 | 7 | 3 | 3 | 3 | 54 |
| (うち催事等イベント) | 3 | 3 | 4 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 11 |
| (うち給付金・助成金) | 3 | 1 | 3 | 2 | 1 | 1 | 0 | 1 | 12 |
| 計 | 167 | 92 | 136 | 76 | 79 | 64 | 41 | 45 | 700 |

行政に望む支援策等では公的支援策の情報提供 85 件（12.1%）が最も多い。複雑多岐にわたる国や都をはじめとする行政の支援策をわかりやすく発信することが望まれていることが伺える。次いで多いのが、区制度融資の充実 75 件（10.7%）で、資金繰り支援に関する要望は、依然として高い。また、全体としては、事業者情報の発信等、店舗・設備の更新等のほか、DX^{※1}や職場環境の整備、SDGsに関する要望も少なくはなく、ポストコロナを見据えた、新たな挑戦に関する支援策を望んでいることが伺える。

DX^{※1}とは、Digital Transformationの略。デジタル技術を用いることで、生活やビジネスが変容していくこと。

3 ヒアリング結果（団体）

【コロナに対する対応策】

- ・ イベント中止時におけるオンラインによる情報発信
- ・ 各店舗への消毒液の配布

【今後取り組みたいこと】

- ・ SDGsの推進
- ・ 感染状況を踏まえながらイベントの実施

【区に対する要望】

- ・ 若手経営者の支援・育成
- ・ 専門家による給付金や助成金の申請支援
- ・ ポイント還元等の消費喚起事業の実施
- ・ 展示販売会等の機会の提供・支援
- ・ イベントや設備整備に関する補助金の支給

【その他】

- ・ 加盟事業所の減少で活力の低下を懸念
- ・ インバウンドが戻らない現状を考慮すると個店支援が重要

4 区内中小企業等の現状から見えてくる課題

事業者へのヒアリングでは、多くの事業者がコロナ前よりも売上げが減少し、未だ回復には至っていないという状況が把握できた。コロナ禍での売上の減少に対しては、資金繰りや感染対策といった、経営をいかに守っていくかに主眼を置いている。

- 今後、この状況を打開するには、売上確保が重要な課題であり、そのためには、新規顧客の獲得やIT化による経営の効率化など、攻めの経営に転換していく必要がある。
- 社会経済情勢の変化への対応といった課題もあり、ヒアリングで今後取り組みたい項目に挙げられた新販路開拓や新商品の開発のみならず、事業転換やDX、SDGsなどに取り組んでいくことが必要である。
- 団体へのヒアリングでは、展示販売等の機会の提供やポイント還元事業など消費喚起を求める声がある一方で、イベント等に対する補助金の支給を求める声が複数あり、新しい日常を踏まえたイベント等への支援を行っていく必要がある。
- 事業者と団体が、区に求める支援策として、情報発信・提供に関するものが共通しており、今後、様々なコンテンツを充実し、分かりやすい情報発信を行っていく必要がある。

IV 基本方針

区内中小企業の課題を踏まえ、以下の3つの基本方針に基づき、産業振興施策の展開を図る。

基本方針1 コロナ禍の影響を最小限に抑える

| | |
|--|---|
| ポストコロナを目指す姿 公的支援がいきわたり、コロナによる経営悪化を抑えることができている | |
| 施策の方向性 | 1 事業者の資金繰りと感染対策をしっかりと支える 2 事業者の実情の応じた相談にきめ細やかに対応する |

基本方針2 企業価値を向上させる取組みを促進する

| | |
|--|---|
| ポストコロナを目指す姿 区内中小企業に、新しいビジネススタイルへ挑戦する機運が高まっている | |
| 施策の方向性 | 1 事業者が新しいビジネススタイルの必要性を理解し取り組む、企業価値向上に向けた挑戦を支援する 2 経済活動、消費動向の変化に対応するため、SDGsやDX導入の取組みを支援する |

基本方針3 新たな賑わいのスパイラルを創る

| | |
|--|--|
| ポストコロナを目指す姿 まちに賑わいをもたらす、事業者間の新しいつながりが生まれている | |
| 施策の方向性 | 1 商店街など団体の現状を把握し、課題に応じた活性化につなげる 2 既存の団体の枠を超えた、新しい事業者間の連携を促進する |

V 基本方針を推進するための横断的取組み

基本方針を推進するため、以下の取組みを様々な事業に取り入れ、区内事業者に寄り添った、きめ細やかな支援を実施していく。

1 情報発信の充実

産業関連情報をイラストや動画など、分かりやすいコンテンツを使い充実し、メールマガジン、SNS等の発信手段を最大限活用した情報発信に取り組んでいく。

【イラスト・動画での情報発信イメージ】

関心喚起
例：マンガ

動画発信の充実

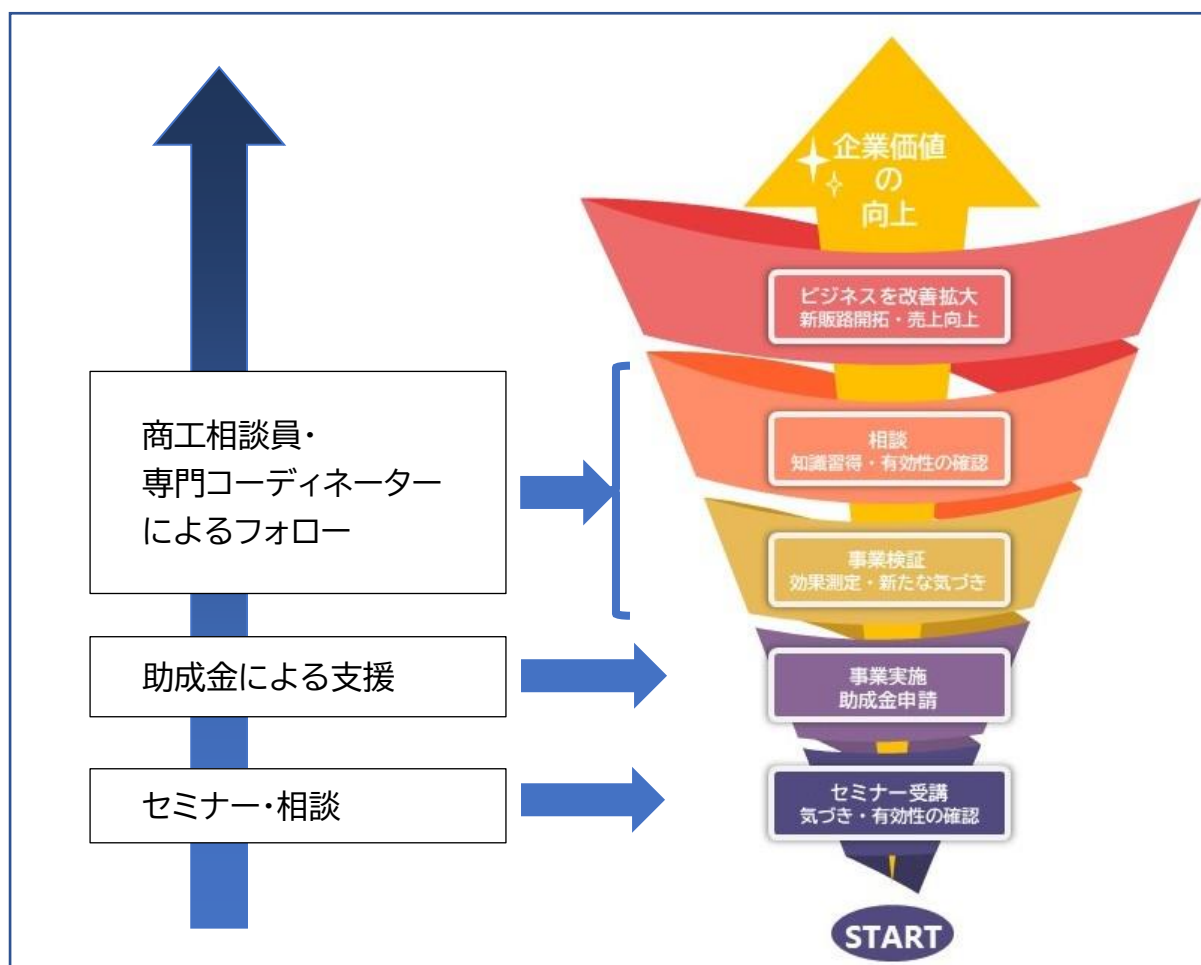
連携・補完

台東区中小企業振興センター
ビジネス支援ネットワークと中小企業の福利厚生

2 事業者の実情に応じた「パッケージ支援」の導入

事業者が行う新販路開拓や売上確保などに向けた様々な取組みをさらに後押ししていくため、これまで実施してきた支援策の連携強化を図り、デジタル化などのテーマについて、啓発から、助成金支援～検証～相談まで、パッケージ支援により、効率的、効果的な支援に取り組む。

【ビジネスのデジタル化を推進していく場合のパッケージ支援イメージ】



3 専門家によるハンズオン支援

事業者が抱えている経営上の諸問題に対して、中小企業診断士をはじめとする専門家とのネットワークを活用した支援を行っていく。さらに、制度利用後のアフターフォローをきめ細やかに行うなど、事業者に寄り添った支援を実施していく。

4 事業者の「長所伸展」を目指す支援

厳しい経済情勢の中にあるからこそ、自社の強みを知り、伸ばしていくことが必要であり、事業者の「長所」にフォーカスした支援を充実していく。さらに、創業して間もない経営者などを対象に財務の基本をはじめとした「経営基礎力」の強化を図り、経営の安定化に向けた支援を実施していく。

5 団体・関係支援機関との更なる連携強化

コロナ禍からの早期脱却を図るためには、区のみではなく、関係団体や支援機関と知恵を絞り、力を合わせていくことが必要である。業界団体や商店街等の関係団体のほか、東京商工会議所台東支部をはじめとする各支援機関との連携強化を図っていく。

6 SDGs やデジタル化に取り組む事業者への支援

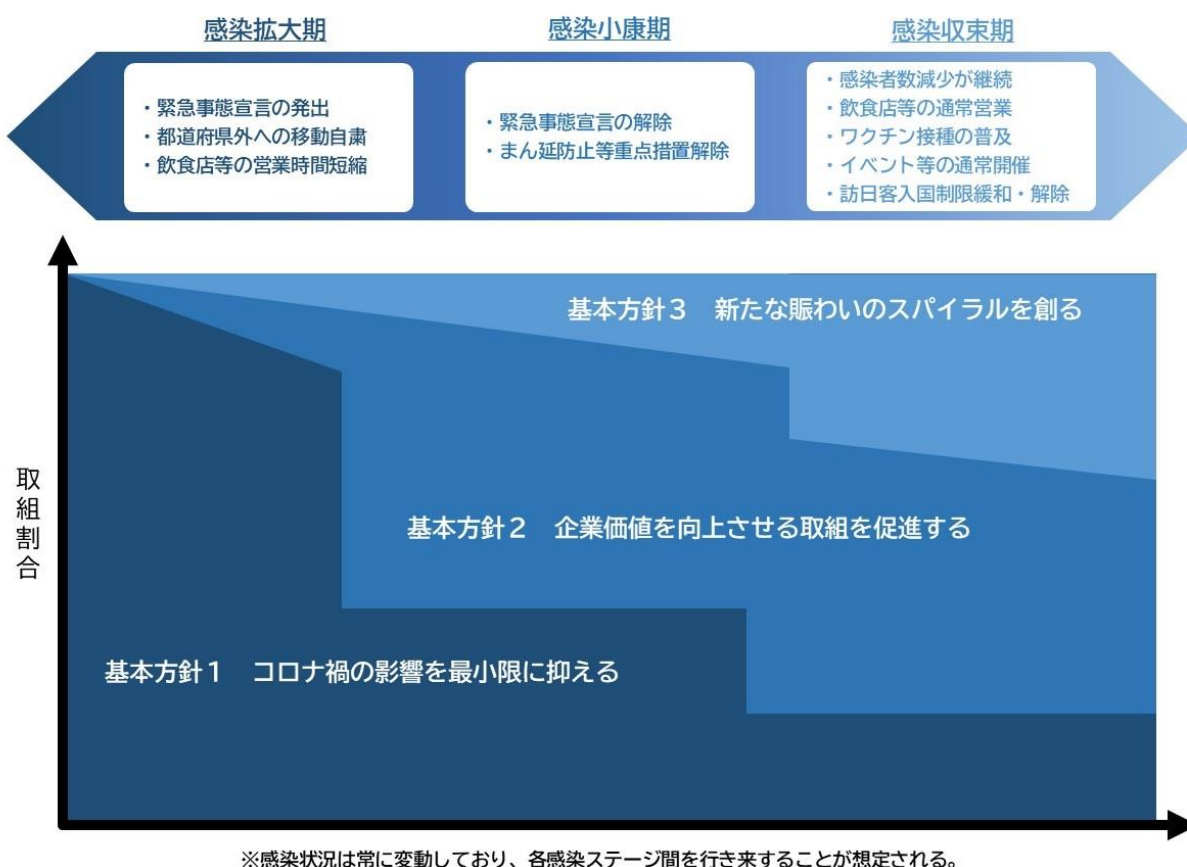
コロナ禍による社会経済情勢の変化により、様々な分野でSDGsやDX推進の動きが加速し、中小企業にとっても、企業価値向上のために不可欠な取組みになってきている。しかし、区内事業者の取組みは十分であるとは言えない状況であるため、SDGsの普及啓発を推進するとともに、DX推進の一步となるデジタル化を推進していくなど、支援の充実に努めていく。

VI 感染状況に応じた主な取組み

コロナの感染状況は、今後も一進一退で推移していくことが想定されるため、「感染拡大期」「感染小康期」「感染収束期」に応じ、重点とする主な取組みは、以下のとおりとする。

ただし、感染変化のスピードも速いことから、基本方針や取組みに捉われることなく、その時の感染状況に応じて柔軟に適切な対応をとるものとする。




【取組割合のイメージ】




※ 取組割合について

「感染拡大期」は、コロナ禍の影響を最小限に抑えることを重点に、「感染小康期」は、企業価値を向上させる取組みを促進することを重点に、「感染収束期」は、新たな賑わいのスパイラルを創ることを重点に取り組む。


1 レベル3～4 感染拡大期

| | | | | |
|--|---|--|---|--|
| <p>【基本方針1】</p> <p>コロナ禍の影響を最小限に抑える</p> | <p>S D G S</p> | <p>8 働きがいの 経済成長も</p>  | <p>9 産業と技術革新の 基盤をつくろう</p>  | <p>17 パートナリシップで 目標を達成しよう</p>  |
| <p>施策の方向性1 事業者の資金繰りと感染対策をしっかりと支える</p> | | | | |
| <p>主 な 取 組 み</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・国や都の助成金・給付金等、資金繰りに関する支援策について、分かりやすい情報発信に努める ・事業者の資金繰りをしっかりと支えるため、区独自の融資あっ旋を実施する ・飲食店や小売店等を取り巻く環境が悪化しないよう、消費維持のための感染対策を徹底する ・事業者の新たな販路開拓を支援するため、SNS等を活用し、事業者情報発信の充実を図る | | | |
| <p>施策の方向性2 事業者の実情の応じた相談にきめ細やかに対応する</p> | | | | |
| <p>主 な 取 組 み</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・事業者が抱える経営課題の早期解決に向け、経営相談体制の充実を図る ・雇用維持を目的とした助成金等に関する情報発信を行うとともに、専門家による相談・申請支援の充実を図る ・テレワークや時差出勤等に対応できる職場環境の整備を支援する | | | |

2 レベル2 感染小康期

| | | |
|---|---|--|
| <p>【基本方針2】</p> <p>企業価値を向上させる取組みを促進する</p> | <p>S D G s</p> |  |
| <p>施策の方向性1</p> <p>事業者が新しいビジネススタイルの必要性を理解し取り組む、企業価値向上に向けた挑戦を支援する</p> | | |
| <p>主 な 取 組 み</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ポストコロナを見据え、新しいビジネススタイルへの転換を促進するための、相談体制の充実を図る ・区が実施する様々な事業者支援策の連携を強化し、啓発から検証までを一つのパッケージとした支援を行う ・区内にある文化・産業・観光分野の多彩なコンテンツの旅行商品化を後押しする | |
| <p>施策の方向性2</p> <p>経済活動、消費動向の変化に対応するため、SDGsやDX導入の取組みを支援する</p> | | |
| <p>主 な 取 組 み</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍による経済活動、消費動向の変化に対応できる、SDGsやDXの導入に向けた支援に取り組む ・ワーク・ライフ・バランスの推進など、新しい働き方の更なる普及啓発を進める ・事業者の強みを活かした商品開発や新販路の開拓、さらには、事業者の知的財産権の保護、消費動向の変化への対応など、事業者の取組みを後押しするための支援の充実を図る | |

3 レベル0～1 感染収束期

| | | |
|---|--|---|
| <p>【基本方針3】</p> <p>新たな賑わいのスパイラルを創る</p> | <p>S D G S</p> |  |
| <p>施策の方向性1</p> <p>商店街など団体の現状を把握し、課題に応じた活性化につなげる</p> | | |
| <p>主 な 取 組 み</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・商店街が実施する活性化事業やイベントを支援し、消費喚起を図る ・商店街等団体へのヒアリングや情報提供を強化する ・交流会やイベントを効果的に実施するため、事業者団体や関係支援機関等との更なる連携強化を図る | |
| <p>施策の方向性2</p> <p>既存の団体の枠を超えた、新しい事業者間の連携を促進する</p> | | |
| <p>主 な 取 組 み</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・事業者間の意見・情報交換のため、異業種交流会を推進する ・販路開拓を推進するため、企業価値向上に取り組む事業者を対象とした販売会などを開催する ・特色あるビジネスモデルへの取組みや地域の賑わいに繋がる活動を行う、多種多様な中小企業グループを支援する ・インバウンドの再開を見据え外国人観光客の受入環境整備に取り組む ・海外展開を図る事業者の相談・販路開拓を支援する ・業種を超えて連携した旅行商品の開発を誘導するためのマッチング商談会を開催する | |

VII 方針の推進に向けて

1 推進体制について

産業振興課が中心となり、公益財団法人台東区産業振興事業団、観光課の関係各課と共に施策を実施する。

また、施策の実施にあたっては、関係支援機関との連携を図り、より効果的・効率的施策となるよう努める。

2 進捗管理について

本方針に基づき、実施する施策については、定期的に区内事業者のヒアリングを行い、区内産業の実態を把握しつつ、学識経験者等からなる、(仮称)産業振興推進会議において、効果の検証を行い、感染状況に応じた効果的な施策展開に努める。

3 これからの挑戦に寄り添うために

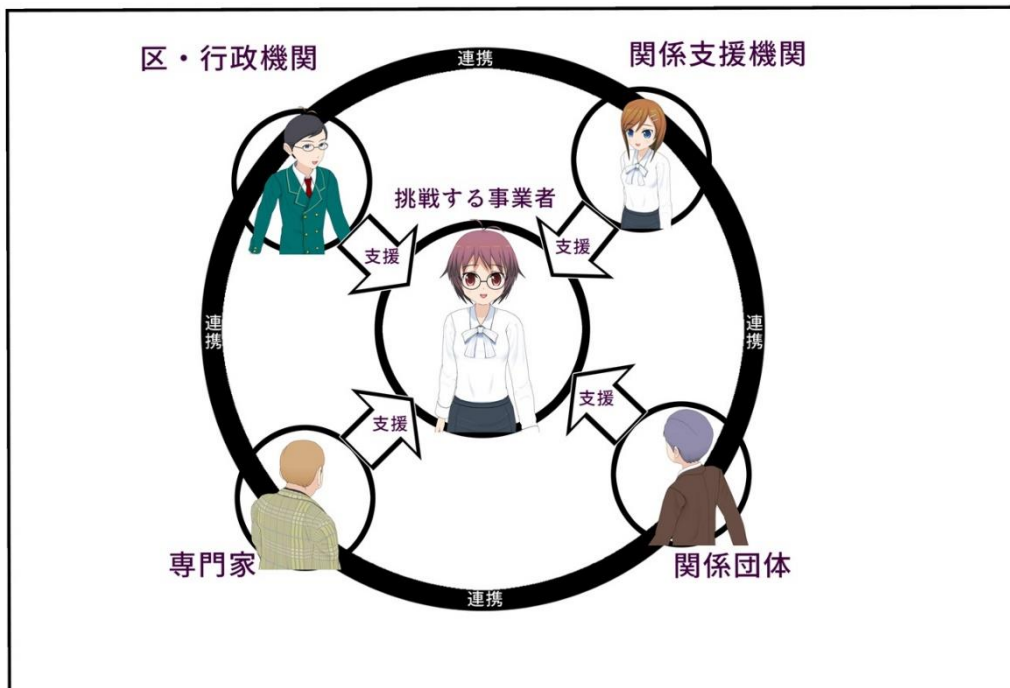
区では、事業者のこれからの挑戦に寄り添うために、新販路開拓、売上確保、新たな分野での起業など、ポストコロナを見据えた様々な取組みに対して、果敢に応援していく。

これとともに、職員一人ひとりがこれまで以上に一步踏み込んだ支援「少しだけおせっかい支援」を念頭に取り組んでいく。さらに、従来の「支援」に加え、事業者、関係団体、行政機関や関係支援機関が一つのチーム＝円になって支えあう「支円」の構築を目指す。

【「少しでもおせっかい支援」のイメージ】



【「支円」のイメージ】



台東区産業振興推進方針

～これからの挑戦に寄り添うために～

令和4年3月発行
(令和3年度登録 第74号)

台東区文化産業観光部産業振興課
〒110-8615 東京都台東区東上野4丁目5番6号
電 話 03 (5246) 1415
F A X 03 (5246) 1139